



立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
三宅ビル7F  
Tel.03-3595-9988  
Fax.03-3595-9088



人・くらし・地方が原点。  
参議院議員  
**野田国義**  
「次の内閣」総務大臣  
NCネクストキャビネット

## 「令和5年梅雨前線による大雨被害」支援対策

## 7/12 緊急視察

このたびの災害により、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

### ◆災害対策特別委員会

### 8/17 理事として政府を質す

閉会中質問



谷 防災担当大臣

野田「保健師さんの見回り、罹災証明書の（出張手続き）指導など、“大変ありがたい！”との心温まるエピソードも報告させていただきますが、国の支援を要望し、**万全な復旧策**をお伺いします！

7/12より、現場に配慮しながら広川町、久留米市、朝倉市、東峰村など、各被災地の視察をはじめました。6年前、九州北部豪雨で甚大な被害を受けた各地域で再びの大災害。1ヶ月前には国の代行事業で完成式があったばかりの現場も被災、痛恨の極みです。住民皆様の不安の声をしっかりと受け止め、生活支援と生業支援を万全に行い、効果的な対策を速やかに進めるよう国をはじめ各関係方面に働きかけます。



←【参議院 Web】  
質問動画はコチラ  
日付、会議を選択



党防災会議



### ◆党災害-緊急事態局 ZOOM 会議

### 7/12 局長代理として現地報告をおこなう

野田「直前まで気象庁の**最高レベル5**、命を守る安全確保の警報が出ていました。特に、**久留米市田主丸**の状況は記録的な大雨が原因です。地域の要望をしっかりと受け止めて、各方面の**迅速な援助**をお願い致します!!」

7/12 この時点ですでに国内では、特に西日本での被害が報告されており、この後、7月15日以降、東北地方も秋田県を中心として、線状降水帯ではないというもの、記録的な豪雨に見舞われました。

## 党視察

### ◆泉代表 福岡入り

「**早期に激甚災害指定を**」

求めていく! **立憲民主**

### 7/26 被災地視察



【久留米市】

千之尾川周辺の土石流被害「複数の住宅が巻き込まれ1人の死亡を確認した地域」

【朝倉市】(旧朝木町)

赤谷川の堤防崩壊「6年前の豪雨で仮固めした堤防が再び崩壊」

野田「激甚災害指定の早期実現と広川川の越水による被害も十分な対応を願いたい」

【福岡県庁】生嶋副知事と立憲議員団の意見交換

7/27 指定見込み!

8/25 **激甚災害指定**  
決定しました!

## 参議院派遣(被災地視察)

### ◆秋田県 線状降水帯ではない豪雨だ

### 8/3 参議院災害対策特別委員会・理事



【五城目町】

【秋田県庁】佐竹秋田県知事と穂積秋田市長が重要「速やかな激甚災害指定を臨む」

2023年党会〜今夏までの「総括」

「朝令暮改」の岸田政権

大混乱のマイナンバー問題 “資格確認証”期間延長でも保険証は廃止?!

今年の党会においての政府与会の姿勢ですが、まず文書通信費のことは触れず、結論を出しませんでした。まずは何よりも、国土交通省を中心とした「天下り問題」が露呈し、これも変えようとしませんでした。まさに政治や行政を正すことができない岸田政権が本性を現したのです。

一方、我々はLGBTの問題、同性婚の問題、入管法の問題、刑法改正や統一教会の問題、性的虐待の問題

内閣提出法案等への立憲民主党の賛否結果

	本数	賛成	反対	賛成率
閣法	59*	45	14	76.3%
衆約	11	11	0	100%
合計	70	56	14	80%

\*閣内法案の提出 6本(衆議院5本、参議院1本)のうち3本可決

等、立憲民主党は常に当事者の側に立って一緒に取り組んできました。我々立憲民主党は、法案

への賛否では、閣法で約7割強(76.3%)、議員立法では約8割近い賛成をしています。決して反対ばかりの野党ではありません。メンツ優先で、余計に手間と経費がかかる政策を選択する岸田政権です。「朝令暮改」では不信が募ります。

「次の内閣」総務大臣として全力 義憤を抱き質問!! (5/23)

野田くによしの役職

- [政党]「次の内閣」総務大臣、選挙対策委員長代理 政治改革推進本部長代理 等
- [国会]決算委員会/理事、総務委員会/委員 災害対策特別委員会/理事
- [政府]日本ユネスコ/国内委員(’21.12～文部科学省)



「マイナンバーカード」をめぐる問題(決算委員会 5/23)で、特に医療現場からの声を変え多くご質問いただきました。よって、主務大臣の総務大臣に直接質問する機会を得て、なかでも健康保険証の来秋廃止の撤回を求め、マイナンバーと一体化の反対を中心に訴えさせて頂きました。実際の運用面では、別人の住民票や戸籍証明書、あるいは個人情報漏洩事案までもが次々に発覚した事態に陥り、政府の責任は大きいものがあると捉え追及しました。

「地方分権」改革の三〇年はどうだったのか 「地方創生」施策は一〇年越しの計画

地方創生 資料 3

このままの「地方創生」施策で大丈夫なのか?!

「地方創生」 まち・ひと・しごと創生総合戦略

第1期 平成27～平成31年度

- 各府庁の政策事業費
- 地方創生先行型交付金
- 地方創生加速型交付金
- 地方創生推進交付金
- 地方創生拠点整備交付金

これまでに 1.0兆円

第2期 令和2～令和4～令和6年度

- 各府庁の政策事業費
- 地方創生推進交付金
- 地方創生拠点整備交付金

すでに 5兆円

地方創生計画 2兆円規模

①+②= 21兆円 超え!

新型コロナウイルス感染症対応「地方創生」臨時交付金

1.7兆円 超え!

「地方創生」名目の関連予算は

①+②= 38兆円 超え!

何より直近10年間で、平成26年(2014年)に



今や相次ぐ大規模災害やコロナ禍の経験を踏まえ、住民により近い地方自治体のほうが、実情の把握ときめ細やかな救済が可能であることが再認識され

策にも疑問を持ち、委員会で政府を質しました

「地方創生」に関して、東京圏への人口転出入の均衡の未達をはじめ、これまでに約40兆円を超える「地方創生」名目の各省施策と、現在、岸田政権でも推し進め

「地方創生」名目の関連予算は 38兆円 超え!



まずは「社会資本整備(インフラ)維持更新費等の増大」について質しました。事後保全、予防保全とい

「地方創生」名目の関連予算は 38兆円 超え!

まず「社会資本整備(インフラ)維持更新費等の増大」について質しました。事後保全、予防保全とい

2

広川・八女3号線バイパスは必要なのか？

資料 2

身近な県道がまだまだ未整備だ！

多くの疑問あり



Q.朝の**渋滞**は？  
A.広川インターから久留米方面へ！

Q.国の事業とは言っても...  
A.県の負担分は30%にも及ぶ！

決算委員会での質問資料

事務所作成

200兆円〜280兆円、単純計算で、年間約6.3兆円(約9.3兆円)の支出が、国交省のインフラの維持更新管理費用として見込まれます。造れば費用が掛かるのです。これは「**社会資本整備(インフラ)維持更新費等の増大**」について質しました。事後保全、**予防保全**というメンテナンス手法がありますが、今後30年間で、

約200兆円〜280兆円、単純計算で、年間約6.3兆円(約9.3兆円)の支出が、国交省のインフラの維持更新管理費用として見込まれます。造れば費用が掛かるのです。この事をよく考えねばなりません。例えば地元での例を挙げても、再三、国土交通委員会でも質問している問題です。

野田「本当にこういった無駄な公共工事、もうやめましょうよ。まだ自民党はそういうことをやっているのかというような話になっていくと思いますよ。総理、いかがでしょうか。」



岸田総理大臣

「**広川・八女国道3号線バイパス計画等**」について、取り上げました。この事業は、いきなり他の約180の渋滞箇所がありながら、約4年足らずで新規事業採択の決定にまで至りました。異例のスピードです。政治的思想を過分に含んだ道路事業です。令和5年度では、5000万円の予算が付きましました。いわゆる、この事業の全国中継、総理全閣僚出席の中、国交大臣を中心に質した次第です。  
**今後のため、岸田総理にも問いました。**

●予算は、総事業費300億円から600億円、県負担も3分の1、全て血税です。

- いつからか2018年9月、八女市と広川町が共同で国に要望書を提出した！
- 誰が政治的(圧力)、かつ大物が背後にいないのか？
- 過程は、約4年で決定!! 県内の渋滞箇所は、他に約180箇所以上、すでに久留米立花線もあるのに!?

ポイントは、

動画は↑コチラから日付、会議を選択

岸田総理  
「地元への丁寧な説明は大事だ」と思いながら話している。必要ならインフラについては引き続き費用対効果踏まえつつ着実に整備すべき責任だと思います。」  
(※発言…要旨抜粋)



鈴木財務大臣

1 ①さらに決算委で政府を追及  
4/10, 5/10, 22  
元総務大臣、官房長官、財務大臣に問う!

野田くによしの国会質疑 (★理事 ●委員)

211 国会(通常会) 2023年

- 本会議 2回 3/10(代表質問), 6/14(討論)
- ★ 決算委員会 4回 4/3(TV), 4/10, 5/10, 5/22
- 総務委員会 2回 3/9, 5/23
- ★ 災害対策特別委員会 1回 6/9

2 総務委員会・ニマインバー問題 / 放送法などに続け  
て(3/9, 5/23)  
総務大臣に問う!!

感染症対応における公立病院の役割「医師、看護師、薬剤師の確保と働き

更に、官房長官へ「ジャンニ喜多川氏の性加害問題」や、国交大臣へ「公共事業の評価手法の効果・適切性」、「OBの天下り人事介入」など次々と質しました。

国会への事前議決の必要のない「予備費」、あるいは「国及び地方の長期債務残高(令和3年度末、1,280兆円)」や「MMT理論、自国通貨を持つ国は安心で、日銀が国債を買えば大丈夫であって、国全体のバランスシートは問題ない」との発言を主張するエコノミストや政治家、有識者に対しての率直な受け止めについて財務大臣を質しました。

「放送法の政治的公平性」についても、大きく取り上げました。こちらでは、安倍政権時代の当時の総務大臣による「補充的解釈」が未だに存在しており「圧力解釈」の暴挙には、総務メンバーのみならず、総務で立ちまはった次第です。



「方改革」等についても取り上げました。こちらでは、慢性的な赤字経営を続ける公立病院次第ですが、新ガイドライン（総務省）を踏まえて、2022年度と2023年度とで、今までにない積極的な経営強化プラン（改革プラン）を策定するよう取り組みを進めているようですので総務大臣を質しました。



③二度の本会議に登壇!!(3/10、6/14) ④代表質問(地方税交付金等) ⑤3月10日・(総務)代表質問(地方税交付金等)

3月10日、冒頭はやはり「放送法」について発言し、高市国務大臣に自

らの約束通り速やかに大臣と議員を辞職すること申し上げ、その見解を求めました。更に、現政権は、透明性もなく、使途も追えない、巨額な「予備費」を十数兆円、巨額な「積み増す感覚」をお持ちのようなので、この際あえて、苦言を呈しました。

法案審議は、「一般財源総額確保」、「物価高騰対策」、「地方交付税」、「自動車関係諸税」、「ふるさと納税制度」、「森林環境税及び森林環境譲与税」、「地方分権改革」などについて松本総務大臣に、そして「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」については岡田内閣府担当大臣に伺っています。

⑥6月14日・「決算」討論(令和三年度決算)

令和三年度決算の「討論」です。私三日のテレビ入りでの私の質問をはじめ、政府との論議を重ねてきました。今日の「討論」はその締めくくりとなる演説です。国の決算は数字上では、歳入が169.4兆円、歳出は144.4兆円、翌年度繰越額は22.4兆円、不用額は6.3兆円、決算のブライマリーバランスとしては31.2兆円の赤字となりました。それぞれにか

「熟議の参議院」として、国民のための「充実審議」を切に願ってお訴えました!

④災害対策特別委員会・大規模災害に備えて(6/9) 内閣府(災害担当)大臣に問う!!

議員立法の「国土強靱化基本法改正案」についてですが、災害時において立憲民主党議員も政府に対して、予算や、制度への要請に尽力している訳でありまして、我々も国民生活を守る行動をとっていると思し



谷内閣府大臣

その上で、「財政状況等」に留意することでの無駄の排除は本当に可能なのか大臣に伺いました。なぜなら、国会の参議院の要請で、会計検査院が防災や減災を目的に平成30年度から令和2年度の計画で実施された国土強靱化のための緊急対策事業を調べた結果、平成30年に閣議決定された緊急対策の内容と合わない事業が含まれてい

たり、事業の執行状況の集計もされていなかっただ報告があった為です。強靱化は「補修・追加対策といえどもB/C(ビー・パイ・シー)」の評価手法は用いているのかも質しました。この法案にもついては質疑の後、「附帯決議」も提案させてもらい賛成多数で可決しました。なお、議員立法はもう一本提出されており、「活火山対策特措法」も可決させた次第です。

通告は無かったのですが、ウクライナでダムの大規模な決壊により、甚大な被害が出ていることに鑑みて、我が国で仮にでもダムや原発など重要拠点施設が狙われた場合の想定について、大臣に伺ってみたいところ、政府全体で考える必要がある旨、前向きな御答弁を頂きました。



赤谷川権限代行工事及び直轄砂防事業完成式

続けて、「令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号に係る被害状況」や、「赤谷川権限代行工事及び直轄砂防事業完成式」について質問しています。平成29年7月の九州北部豪雨によって、福岡県が管理する筑後川水系赤谷川流域(朝倉市杷木周辺)では、甚大な被害が発生しました。また、全国で初めて、国主導で代行事業が進められてきました。6月4日完成式を向かえ出席しています。

活動記録

「統一地方自治体選挙を終えて」(立憲民主党福岡県連)

4月9日投票開票の前半戦では、福岡県議会議員選挙は選挙前12議席のところ現職9議席、新人5議席の14名が当選、福岡市議会議員選挙は選挙前6議席のところ現職4議席・元職1議席・新人2議席の7名が当選の結果を頂きました。4月23日投票開票の後半戦となる一般市議会・町議会選挙では、福岡県内の立憲民主党公認・推薦候補は現職8名・新人4名の12名全員が当選の結果を頂きました。皆様から寄せていただいた、全てのご支援・応援に心から感謝申し上げます。

いろいろなご要望やお困りのこと、国会見学をご希望の方はご連絡なく下記へご連絡ください!

野田くによし後援会 立憲民主党福岡県参議院選挙区第1総支部 info@nodakuniyoshi.net

RIKKEN MINSHU 号外 立憲民主党 福岡県参議院選挙区第1支部 2023.9.1

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 323 号室 Tel: 03-6550-0323 Fax: 03-6551-0323

福岡事務所 〒834-0031 福岡県八女市本町 2-8-1 Tel: 0943-24-4630 Fax: 0943-24-4631

Facebook, Instagram, YouTube icons and QR code for discussion materials.